

## < 4つのグループに分かれて、討議、発表 >

市民を巻き込む仕掛けづくりをどうするかについて、グループで議論した後、全体討議を行いました。

### < 発表 >

#### 1 班

2 3 連区長に来ていただいて、自治基本条例を考える会が何をしているのかということを確認してもらおう。連区長からまた町内にも話をしてもらおう。また、子ども会、PTAにも声をかけて、会長・副会長に説明をしていただければ、市民の若い層にも伝わっていくのではないかな。現地に行く時間を与えていただくことが必要。

#### 2 班

PTA、子ども会にも来てもらい、知っていただく。商工会など産業関係にも周知が必要。若い人の意見を取り入れることが課題。

#### 3 班

既存の組織の有効活用。ライオンズクラブや少年野球やサッカーチームなどの監督や子どもを呼ぶことも面白い。

直接聞くこととしては、アンケートやモニター制度がある。手法までは踏み込んで検討する時間がありませんでした。

#### 4 班

他の班の意見と似ていますが、あえていえば、関心を示さない人たちにどう動機づけるかが課題。どう集めるかは、決まりませんでした。

個人的な意見としては、人を集める仕掛けを考えていくと一宮方式になるのではないかな。

途中段階で議論ができるような、けんかができるような場づくりができれば、進んでいくのではないかな。

### < 質疑応答 >

いろんなところに行って、誰が何の話をするのか。

(松下)

- ・ 出かけるタイミングによって話が違ってくる。委員のみなさんが意見を聞いてくるというのがねらい。どの時点で話す素材ができるかということも関係してくる。具体的な事項について、議論できる事項について、ある程度でできたら、話ができると思います。

私は、市民の代表ではなく、3 8 万分の1でしかない。各段階で早い段階で、オープンにして、叩かれる機会を作って、それに叩きかった時点で、代弁性が確保できるのではないかな。オープンにできる場所を持ち続けることが必要。

(松下)

- ・ ある程度、市民の皆さんに聞きたい事、話してもらいたい事がまとまった段階でないと話

にならない。流山では、もっと荒っぽい議論もあった。自治基本条例では、憲法も変えられるという意見が出て、議論し、引っ込めようという意見にまとまったこともありました。もう少し、中身を議論して、概要がある程度みえてきた段階での話ですね。

**(まとめ)**

- ・ いろんな方の意見を活かす仕掛けをどうするかですが、どのタイミングで何を聞くのか、聞き方、対象は今日ここで議論していただきました。こういったことを形にしていきましょうということで、今回はまとめに変えたいと思います。今後はこれらを具体的にスケジュールに落とし込んでいくということをご了解ください。